

試合運営ガイドライン

(新型コロナウイルス感染症対応)

|  |
| --- |
| スタジアムのゾーニング（スタジアム規模により可能な限り実施） |

1. 目的
   1. できるだけ来場者の人数を少なくすることで、感染リスクを抑える
   2. ゾーン分けしておくことで、感染者が出た場合の影響範囲を限定する
   3. とくに選手、チームスタッフと接触する可能性を最小化する
2. 3つのゾーン分け。互いの接触を避ける導線管理を行う
   1. ゾーン1：競技関連
      * ピッチ及びピッチ周辺（テクニカルエリアを含む）
      * 選手入場口
      * 選手及び審判員の更衣室
   2. ゾーン2：運営・メディア関連
      * 運営諸室
      * 記者席を含むスタンド
   3. ゾーン3：スタジアム外縁（指定管理エリア）
3. ゾーン毎の来場者と、来場人数

(1) 上限人数は設けない

(2) 「ゾーン1：競技関連」への来場者は最小限になるようにする

1. 主管団体は予め、関係者（観客は除く）の一覧表を作成し、当日の管理に役立てる
   1. 来場時刻、退場時刻を記録する
   2. 感染者が発生する場合に備えて、来場者全員の連絡先を把握しておく。その際、個人情報を適切に管理する

|  |
| --- |
| 会場運営 |

1. 来場者全員に求められること
   1. 無理な来場は、勇気をもって、見合わせる
      * 体調がよくない場合（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）
      * 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
      * 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
   2. 握手、抱擁などは行わない
   3. 社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を確保する
   4. マスクを着用する（プレー中の選手等を除く）
   5. 手洗い、手指消毒をこまめに行う
2. 衛生担当者の設置（試合当日は腕章を着用）

主管団体は、試合開催時の衛生管理に関する責任者を指名し、全社連に届け出る

* 担当者はプロトコルが実行されているか確認し、改善を要する場合、その旨指示する

1. スタジアムの衛生管理（（1）は対応必修）、その他は状況による）
   1. 使用するすべての部屋に消毒液を設置する
   2. トイレの手洗い場には、石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意する

※ペーパータオルの設置は主管団体の判断とする。設置する場合はゴミ回収等の衛生面に注意する

* 1. チーム到着前に、チームが使用を予定する場所すべてを消毒する。
     + チーム到着のより遡って48時間以内に施設利用がない場合は、消毒しなくてよい
  2. ドアはできるだけ開けたままとする。ドアノブに触れる頻度を下げるため

1. スタジアムへの入退場の管理（関係者）
   1. スタジアムのすべての入口で入退場チェックを行う
      * 入口の数は適正に設置。欧州では、選手以外は1箇所に限定し、管理を徹底している
   2. 入場前に体温を測定し、37.5度以上の場合、入場をお断りする
      * 再入場の際も体温を測定する
   3. 来場者名簿を利用して、来場時刻、退場時刻を管理する
   4. すべての入口に手指消毒液を設置する
2. スタジアムへの入退場の管理（ファン・サポーター）

(1) 待機列が「密」にならないよう工夫する

　　例：ブロックごとに入場時間を分ける、開門時間を早める、間隔を空けることの呼びかけ、喋らないことの呼びかけ

(2) 入場時に体温を測定し、37.5度以上を超えている場合、入場をお断りする

(3) 試合後はゲートが大変混雑する可能性があることから試合によっては、規制退場を実施する

1. ゾーン毎の導線管理（競技場規模、入場者数の状況により対応）
   1. ゾーン毎の導線を設定し、人と人の接触を限定する
   2. チームとその他の方の接触を最小限に留めるために、ゾーン1導線の独立性に留意する
2. 大型映像装置、場内放送の運用
   1. 操作室に三つの密が生じないよう、最少人数での運用を工夫する
      * 操作室では必ずマスクを着用する

8.　場内／場外売店

(1)　飲食（アルコールは除く）・グッズの販売は容認される

(2)　販売員は、マスク・手袋を着用する

9． 喫煙所は[受動喫煙対策](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000189195.html)に基づいて実施される場合のみ設置できる

10． スタジアム内外の掲出及び装飾

(1) 通常の試合通り設置可能

|  |
| --- |
| メディア及び中継制作・送信 |

1.　来場者全員に求められること

(1) 健康チェックシートを受付に提出する（チェック完了後、返却され最終日に回収する）

(2)無理な来場は、勇気をもって、見合わせる

(3)体調がよくない場合

（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）

(4)同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

(5)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(6)握手、抱擁などは行わない

(7) 社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を確保する

(8) マスクを着用する

(9) 手洗い、手指消毒をこまめに行う

注意）全社連の試合会場では殆どの開催競技場でトイレや洗面所にペーパータオルの設置はなし。各自多めにハンカチやタオルの準備をする

2.　試合取材における必須事項

(1) すべてのメディアが事前申請を必須とする

(2) 取材申請者が多い場合は取材活動ができる人数制限を設け、取材許可がおりたメディアのみスタジアム内での取材を可とする

3． スタジアム内の対応について（受付時間はチーム判断）

1. 各メディアは受付終了後、所定の取材位置へ速やかに移動することとし、控室の使用は禁止する（控室は荷物置き場としての使用、デスクワークは避ける）
2. スタジアム内では、上記留意点を必ず心がけることとする

4． 記者席での取材活動について

1. 取材活動が許可された記者については、指定された記者席で取材活動をおこなう

その際、隣の記者との間隔をできるだけ2m。最低1mあけて着席することとする。またチーム広報担当者は各メディアの座席位置指定し把握する

5． ピッチレベルでの撮影(取材活動)について

1. ピッチレベルの撮影については、指定した両ゴールライン側エリアのみとする。その際、チーム広報担当者は撮影位置の間隔をできるだけ2m。最低1mあけて設置し、各メディアの位置を把握する。撮影者(カメラマン)はいかなる理由があってもベンチ付近に立ち入ることを禁止する
2. 試合前の入場セレモニー等の撮影はチーム公式記録カメラマン（オフィシャルビブス着用者）及び当日の中継局のみ（藤色ビブス着用）撮影を許可する
3. 試合中の撮影に関しては、決められた撮影位置からの移動は禁止する

6． 試合終了後の対応について

1. 監督記者会見および選手の取材は下記の通りの対応とする

●監督・選手、メディア関係者は常時マスクを着用し、不必要な会話を控える

●代表質問を行うなど、取材者の人数も必要最小限となるように調整する

●選手との距離は2ｍ以上取り、取材者同士も、最低1ｍ間隔を保つ

●できるだけ短い時間で取材を終える

上記以外は主管団体の指示に従う

1. すべてのメディアは試合終了後1時間以内にスタジアムを退出する
2. 受付時に配布したＡＤ（プレス用）カード、カメラマンビブスはお帰りの際は必ず返却する

★新型コロナウイルス感染防止対策により、ＡＤカードやビブス等の返却の際は手渡しせず、主管団体が準備する指定のビニール袋等に各自で入れる

|  |
| --- |
| 来賓対応 |

1. 来場者全員に求められること

(1) 無理な来場は、勇気をもって、見合わせる

• 体調がよくない場合

（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）

• 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

• 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

(2) 握手、抱擁などは行わない

(3) 社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を確保する

(4) マスクを着用する

(5) 手洗い、手指消毒をこまめに行う

2. 主管団体は予め、来場者の一覧表を作成し、当日の管理に役立てる

(1) 来場時刻、退場時刻を記録する

(2) 感染者が発生する場合に備えて、来場者全員の連絡先を把握しておく

|  |
| --- |
| チーム、審判員、及び競技 |

1. スタジアムへの到着
   1. 両チームは、キックオフ時刻の70 分前までにスタジアムに到着する
   2. バス利用に際して、以下の点に留意する
      * マスクを着用する
      * 移動が長時間（2時間以上等）にわたる場合、複数台に分乗して選手間の距離を1.5～2m開けることを、検討する
      * 車内の換気に留意する。1時間に3回の換気が推奨される
   3. 審判員は各自到着し、試合終了後、各自退出する
2. 試合当日の体温測定
   1. 毎日の定時の体温測定は、変わらず実施する
   2. スタジアム到着時にチーム全員の体温を測定する。審判員についても同様とする
   3. 37.5度以上の者がいた場合、次のように処置する
      * スタジアムに来場しない
      * タクシー等で、自宅またはホテルに送り出す
      * チームの衛生担当者に連絡する。衛生担当者はマッチコミッショナーに報告する
      * 新型コロナウイルス感染症の疑い症状がある場合、ドクター（看護師）に相談のうえ、診療・検査等の適切な処置を行う
      * 疑い症状がない場合、適切に経過観察する
3. チーム及び審判員全員に求められること
4. 健康チェックシートを受付に提出する（）
5. 無理な来場は、勇気をもって、見合わせる
   * + 体調がよくない場合

（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合）

* + - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
    - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

1. 握手、抱擁などは行わない。ユニホーム交換をしない
2. 社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を確保する
3. マスクを着用する（アップ中またはプレー中を除く）
4. 手洗い、手指消毒をこまめに行う
5. グラウンドでの唾・痰吐き、うがい等

唾・痰吐き・うがい等は、飛沫が飛び感染の原因になる。絶対にやめる

1. 更衣室（チーム及び審判）
2. 更衣室内でも社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を確保する
   * + 空いている部屋があれば追加の更衣室として利用する（先発と控えで分ける等）
     + 追加の更衣室が難しい場合、時間をずらすなどの工夫をする
3. 更衣室の滞在時間を、できるだけ減らす（目安：各自30～40分）
4. 更衣室内では、必ずマスクを着用する
5. タオル、飲水ボトル等を共用しない

**ＷＢＧＴ値に基づく飲水タイム以外は実施しない**

1. シャワーは、一つずつ間隔を空けて使用することを原則とする。人数が多いときは時間をずらして使用することで、人と人の間隔（できるだけ2ｍ。最低1ｍ）を確保する
2. 選手の治療、マッサージ
   1. トレーナーはマスク・手袋・手指消毒など標準予防策をとったうえで対応
   2. 環境（使用する器具等）の消毒を行うこと
   3. チームドクターが新型コロナ感染を疑う徴候のない選手の外傷に関して診察を行う場合には、標準予防策（マスク・手袋の着用）を行う。N95マスクの着用は必要ではなく、サージカルマスクで十分である
3. ボールパーソン、担架要員
4. ボールパーソンの人数をできるだけ少なくする方法を検討する
   * + 試合実施要項の［試合球］の定めに関わらず、上記の目的のために8個以上のボールを使用することは許容される。
5. 試合前のマッチコーディネーションミーティング
   1. 実施しない（ＭＣ、両チーム運営担当者、主審、会場主任の５名で密にならないよう８０分前に簡単な打ち合わせを行う　ユニホーム色・時間・出場停止・会場使用上の注意など）

※ピッチチェック終了時にピッチ上での打ち合わせで可

* 1. 感染予防のプロトコルは両チームの責任において遵守する

1. 試合開始前のウォームアップ
   1. 室内練習場の使用
      * 選手、コーチングスタッフは、マスクをしなくてよい
      * 換気に留意する
   2. ピッチ上でのウォームアップ
      * 選手、コーチングスタッフは、マスクをしなくてよい
      * 審判員はマスクをしなくてよい
2. 試合開始前の、審判団による選手チェック及び用具チェック
   1. 各チームの更衣室前（通路が狭い場合は屋外で実施）で副審が実施。副審はマスクを着用
3. 選手及び審判団のピッチ入場～キックオフ
   1. 両チーム選手及び審判団は整列の上、一緒に入場する
   2. 入場前は社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を保つよう十分配慮する
   3. リスペクト旗の入場及びエスコートキッズは行わない

※マスコットの入場、子供を抱いての入場も不可

* 1. 握手セレモニー、ペナント交換等は行わない
  2. チームの集合写真撮影は認められる。但し社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を保つこと

　　　※チーム公式記録カメラマン（オフィシャルビブス着用者）及び当日の中継局のみ　撮影を許可する。（状況により変更の場合あり）

* 1. コイントスは主審及び両チームのキャプテンにより実施する。但し、社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を保つこととする
  2. ピッチ上で円陣を組むことは行わない

1. チームベンチ
   1. 1席空けて座る
   2. 入り切らない場合は、ベンチを増やして対応。または、主審および両チームで事前

に合意した場所で待機

* 1. ベンチの選手及びチームスタッフは、マスクを着用する。但し、テクニカルエリア

で指示を送る際は、マスクを外してよい

* 1. 不要な会話・接触は控える

1. 試合中の飲水
   1. 原則飲水ボトルの共用を避ける

**・**たとえ口が直接触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性はある

(2)　氷水にスポンジを入れて体を冷やすことは、体を冷やすだけであれば容認される。スポンジで顔を拭うことは行わない

(3)　選手が口を付けフタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは、ぜったいに避ける

* + ペットボトルでのピッチレベル設置使用可（但し、直接芝やタータンに置く場合はスクイズボトルタイプのキャップに交換する）但し、使用したペットボトルは必ず破棄すること
  + クーラーバックに入れて設置する場合、タッチライン付近でのチームの設置箇所は原則4箇所とする。設置箇所はメイン側、バック側の両サイド（原則センターラインとゴールラインの中間付近）に設置
  + ビニール（ソフト）ケースタイプは設置可能、ハードボックスは試合中の設置不可（飲水タイム時は使用可能）

1. ゴールセレブレーション

（1）社会的な距離（できるだけ2m、最低1m）を保って実施する

1. ハーフタイム
   1. 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ導線が混雑しないよう、予め確認する
   2. グラウンドの補修は、通常と同様に実施される
2. 試合終了時のセレモニー
   1. 両チームと審判団がピッチ中央に集まることは行わない
   2. チームとして集まって場外のファン・サポーターに挨拶する等を行う場合、社会的

距離（できるだけ2m。最低1m）を確保すること。握手、ハイタッチ、抱擁は行わない

* 1. 選手、チームスタッフ、審判員は、各自で更衣室に戻る
  2. その他注意事項
     + 試合後のスタンド内に選手・スタッフが上がってのセレモニーは禁止
     + 入場ゲート周辺での見送りセレモニーについても禁止

|  |
| --- |
| ファン・サポーター**（有観客の場合）** |

1. ファン・サポーターへの事前のご案内（基本ルール）

(1) 無理な来場は、勇気をもって、見合わせてください。

(2) 体調がよくない場合がご来場しないでください。

（例：発熱、咳、喉の痛み、だるさ、味覚嗅覚の異常などの症状がある場合等）

(3) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合はご来場しないでください。

(4) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合はご来場しないでください。

(5) 握手、抱擁などは行わないでください。

(6) 社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を確保してください。（入退場時、トイレの列など）

(7) スタジアムではマスクを着用してください。熱中症対策でマスクを外す場合は、屋外で人と十分な距離（少なくとも２ｍ以上）の確保、咳エチケットに十分配慮ください。

**注意）スタジアムでのマスクの配布はございませんので、各自ご準備ください。**

(8) 手洗い、手指消毒をこまめに行ってください。

**注意）トイレや洗面所にペーパータオルの設置はありません。各自多めにハンカチやタオルの準備をお願いします。**

(8)　観戦時は、座席（立見席・芝生席等含む）から移動することを禁止とします

（間隔を空けずに隣に座る、スタンド前方へ移動して選手に声をかける等）

(9)　スタジアムの外でも、社会的距離（できるだけ2ｍ、最低1ｍ）を確保することはもとより、大声での発声、歌唱や声援、密集等の感染リスクのある行動を回避してください

(10)　アルコール飲料の持ち込みは禁止とさせていただきます。

2. 応援スタイルについて

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ファン・サポーターの皆さまのご理解とご協力が必要となります。

(1)　容認される行為は以下の通りです

* + - 横断幕掲出　※掲出の際、密にならないよう十分配慮してください

注意）メインスタンド側前方の手すりや壁面は、その真下で関係者の通行や作業スペースになっていることが多く、試合中の選手の待機場所になっている場合もあることから掲出を禁止する場合があります。事前に主管団体にご確認をお願いします。

(2)　禁止される行為は以下の通りです

* + - 応援を扇動する
    - 歌を歌うなど声を出しての応援、指笛
    - タオルマフラー、大旗含むフラッグなどを"振る"もしく"回す"
    - トラメガを含むメガホンの使用
    - ハイタッチ、肩組み
    - ビッグフラッグ

※ただし、お客様がいない席に掲出する場合は容認される（掲出前に必ず主管団体へ確認してください）

* + - 会場に出入りするチームの入り待ち・出待ち

|  |
| --- |
| 試合会場の設営、撤去 |

1. 参加者全員に求められること
   1. 健康チェックシートを受付に提出する（初日のみ）
   2. 無理な来場は、勇気をもって、見合わせる
      * 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
      * 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
      * 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
   3. 握手、抱擁などは行わない
   4. 社会的距離（できるだけ2m。最低1m）を確保する
   5. 手洗い、手指消毒をこまめに行う
   6. マスクを着用する
2. 衛生担当者
   1. 衛生担当者は、感染防止の観点から、作業のありようをチェックする
3. 試合日以外に設営作業を行う場合
   1. 可能であれば、作業開始前に体温を測定する
   2. 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理する
      * 感染者が出た場合、直ちに連絡がとれるよう、連絡先を把握しておく
   3. 作業に参加される方の「確認書（仮称）」の運用を検討する
      * 直近2週間の体調不良や濃厚接触がなかったこと等の確認を書面で行ってもよい
   4. 全員が利用可能な場所に、手指消毒液を設置する
4. 撤収作業
   1. 予め作業に参加する者の名簿を用意し、来場時刻、退場時刻を管理する
      * 感染者が出た場合、直ちに連絡がとれるよう、連絡先を把握しておく

|  |
| --- |
| 衛生担当者の試合当日の業務について |

担当者の選定基準

全社連役員（正・副）で試合中にプロトコルが実行されているか確認し、改善を要する場合、その旨指示ができること

作業（プロトコル業務）内容について

1　消毒液設置の確認

* + - 関係者受付
    - 諸室
    - 入場ゲート
    - トイレ、洗面所

　　　　消毒液が切れていないか、不足箇所がないか適宜見回り確認する

2　関係者の体調管理の把握

* + - ホーム、アウェイチーム、審判団の体温を記入したものを管理（チェック後返却）
    - その他関係者の体温を記入したものを管理（チェック後返却）
    - 体温計の管理（動作等）

3　入場ゲートにおいて

* + - 機器の管理・指導・作業チェック

検温機器、フェイスシールド（フェイスガード）の備品管理やスタッフの配置等）